

今日凌瀬

凌瀬市多言語情報資料

今日凌瀬作成委員会

8

あやせ トウデイ

あやせトウデイ作成委員会

あやせしたげんごじょうほうしりょう
凌瀬市多言語情報資料



ふう しゃ こう えん
風 車 公 園

风 车 公 园

「風車公園」が、今年4月、大上二丁目にオープンしました。
風車公園は、大きく分けて3つの広場からできていて、遊具広場にはすべり台などの遊べる施設、ふれあい広場にはテーブル・ベンチなどがあります。多目的広場では、サッカーや野球など球技を楽しむことができます。ぜひ皆さんも、散歩をしたり、お子さんと一緒に遊んだりして、楽しいひとときを過ごしてみたいですか。なお、利用にあたっては、花火やたき火をしたり、ゴミや空き缶をすてるなど、他人に迷惑をかけるようなことはやめましょう。
問い合わせ先 凌瀬市役所 都市整備課 公園緑地担当 電話 70-5627

「风车公园」，今年4月，在大上二丁目开园了。
风车公园，由3大广场组成，游乐广场有滑梯等游玩设施，交流广场有桌子、长椅等，多目的广场，能玩足球和棒球等。请诸位一定试着度过散步，与孩子一起玩耍的快乐时光吧。但是，在利用时，禁止做燃放焰火、扔垃圾和空罐儿等给别人添麻烦的事。



みんなで元気に遊びましょう

大家一起快乐地玩耍吧！





市の鳥「カワセミ」【sinotori kawasemi】
 市内の河川や公園の池などの水辺付近に生息しています。
 緑色の翼、コバルトブルーの背、橙色の下面、長いちばしが特徴で、「清流の宝石」とも呼ばれています。
 綾瀬の豊かな自然環境を保つシンボルとして、平成14年7月7日に制定しました。

市鳥「翠鳥」生活する市内の河川と公園の池など水辺。
 因具有绿色的翼，细长的脊背，橙黄色的底部，长长的嘴的特征，被称为「清流的宝石」。
 作为保持綾瀬市丰富的自然环境的象征，在平成14年7月7日，确定其为市鸟。

本市，以「削減」垃圾50%作为目标，开始着手到现在虽然4年过去了，年间的垃圾处理费用，约15亿2500万日元，相当于每个市民花费1万8500日元，成为政府很大的负担。请理解切身的垃圾问题的现状，以创造没有垃圾的城市作为目标吧。

市では、「ごみ50%削減」を目指して取り組み始めてから4年が過ぎますが、年間のごみ処理費用は、約15億2500万円で、市民一人当たり1万8500円に相当するなど、大きな負担となっています。身近なごみの現状を理解し、ごみのないまちを目指しましょう。

翠鳥大戦争

かわせみだいさくせん
 カワセミ大戦争

カ：考えて！ごみを減らすこと
 一人ひとりの工夫で、ごみの減量は実現できます。ごみを減らすことを考えてから、ごみを出しましょう。

ワ：分けて！資源化。リサイクル
 現在、市では、資源ごみを、「16分別」で収集しています。リサイクルで、ごみになるものを作らないなど、一歩進んだ取り組みも大切です。

セ：世代（次の）に引き継ごう！
 良い環境
 次の世代に引き継ぐ良い環境をつくるため、ごみのリサイクルや減量などに取り組みましょう。

ミ：水を切ってね！生ごみは
 可燃ごみの約半分は生ごみで、その大部分が水分です。生ごみを捨てる前に「ギュッ」と水を絞ることが減量につながります。

A: 请考虑如何减少垃圾
 如果每个人都想办法的话，就能够实现垃圾的减量。请在考虑如何减少垃圾之后，再扔出垃圾吧。

B: 分类！再生资源化、再利用。
 现在，在本市，采取将垃圾分成「16类别」的方法在收集资源垃圾。

通过再利用，致力于不制造成为垃圾的东西等，也是很重要的。

C: 将良好的环境传给后代！
 为了创造后代能够承继的良好的环境，让我们致力于垃圾的再利用和减量吧。

D: 去掉生活饮食垃圾中水分！
 可燃垃圾的一半约为含有水分的垃圾，其中大部分是水分。在扔掉含有水分的生活饮食垃圾之前将水分挤干会大大有助于垃圾减量。



实施 16 类别收集

ぶんべつじっしちゅう
 16 分別実施中



ことばの教室 [语言教室]		日本語:	⇔	中国語
にほん もじ 日本の文字：日本文字	にほんご はつおん 日本語の発音：日语的发音	ご もじ 中国語の文字：中国語的文字		にほんご はつおん 日本語の発音：日语的发音
きょう 今日は、ごみを出す日ではありません。	Kyouwa, Gomiwo, dasuhidewa, Arimasen。	今天不是垃圾投放日		jintinbushurajitoufanri
このごみは、資源ごみです。	Konogomiwa, sigengomidesu。	这种垃圾是资源垃圾		zezonrajishizuyueraji

「今日綾瀬」是为了帮助创造一种使外国籍居民作为本地的一员，能舒适方便地生活的环境，而由各位自愿者作成的信息资料。

この情報紙は、外国籍住民の方が、地域の一員として暮らしやすい環境をつくるための情報資料として、ボランティアの方々が年4回作成しています。